

事業所名

まつぼっくり

支援プログラム

作成日

2026

年

4

月

1 日

法人（事業所）理念	法人理念：こどもの最善の利益を守り、児童福祉と幼児教育の実践で地域に貢献する～すべてのこどもが健やかに育つ地域を目指して～ 事業所理念：その子らしさ 未来を見つめ 保護者とともに									
支援方針	個々の課題に応じた専門的な個別療育を行うとともに、家庭・園と連携しながら、日々の生活習慣の習得を促します。さらに、小集団活動を通して社会性を育み、「日常×専門支援」を一体化した包括的な支援を提供します。									
営業時間（平常時）	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
営業時間（学校休業日）	時	分	から	時	分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事・排泄・衣服の着脱等、基本的な生活習慣のスキルが獲得できるよう特性や発達段階に応じて必要な支援をします。 手洗い等の清潔習慣を身につけられるように支援します。 作業療法士による評価から自助具の使用等を考慮したり個々に必要な支援をします。 固定曜日での利用で生活リズムの安定を図ります。								
	運動・感覚	感覚の特性に対し、作業療法士が評価を行います。 感覚統合療法を用いながら感覚調整のための環境調整や支援内容を提案します。 苦手な感覚があれば、活動や遊びを通して、少しずつ慣れていけるように支援します。 手先の発達や集中力の向上を目指せるようパズルやひも通しなどの遊びを提供します。 鉛筆・スプーン・箸が自分で使えるようになるよう遊びを通して練習していきます。 同法人施設内の園庭や砂場を利用しながら戸外でも個々や小集団で楽しく身体を動かす機会を提供します。 身体のぎこちなさの解消や転びにくい身体づくりを目指して、支援します。								
	認知・行動	遊びを通して、「楽しい」と思える経験を積み重ねながら遊びへの興味を促します。 色や数・形・大きさ・重さなど様々な概念に興味関心の幅を広げられるよう積み木や色合わせ等の遊びを提供します。 お子さんが理解しやすい形で支援スケジュールの提示を行い、活動の見通しを持って行動ができるように支援します。 タイムタイマーや時計を用いて切り替えのタイミングを提示して、時間の配分を意識した行動が取れるよう支援します。 小集団活動やお散歩等を通して、ルールや順序の理解を促していきます。 状況をお子さん自身で理解し、困った時や手伝ってほしい時に助けが求められるよう支援します。								
	言語 コミュニケーション	絵本・紙芝居の読み聞かせやお友だち・職員とのやりとりを通して言葉にたくさん触れる機会を作ります。 お子さんの「伝えたい」という気持ちを大切に言葉や絵カード・ジェスチャー等で自分の気持ちを表現する経験ができるよう支援します。 小集団活動の中でお友だちとのやりとりを通して、コミュニケーション能力の向上を促します。								
	人間関係 社会性	発達段階にあった遊び（模倣遊びや感覚遊び、ごっこ遊び等）の提供を行い、周りの人への興味関心を促していきます。 ルールのある遊びを提供し、順番を守ったり役割分担をしたり、お友だちとの関わりを増やしていきます。 お友だちとの遊び・やりとりを通じて相手の気持ちを理解し、協調性を養っていけるよう支援します。								
家族支援	きょうだい児を含めた保護者からの相談や悩みに対して個別面談を行います。 保護者間での交流が行えるよう座談会や保護者参加の勉強会を実施します。 実際の支援の見学の機会を設けたり、連絡帳を通してお子さんの活動の様子をお伝えします。									
移行支援	保育園やこども園の入園時・小学校への就学時等必要に応じて関係機関と会議を実施し、情報共有に努めます。									
地域支援・地域連携	相談事業所・利用中の他の児童発達支援事業所・その他必要機関等との情報共有に努め、定期的に会議を行います。 通園中の園との定期的な情報共有に努め、必要時には会議を行います。									
主な行事等	・個別懇談 ・座談会、勉強会		職員の質の向上		・毎月の内部研修 (スキルアップ研修・虐待防止研修・身体拘束禁止研修・感染症研修等) ・外部研修 (児発管研修・障がい特性に関する研修等)					